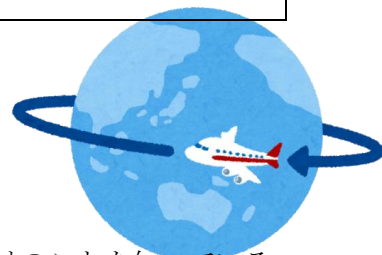


The International Times Vol. 10

「世界規準の大人になろう！」

The International Times は、舟入高校のみなさんが、国際的な経験を通して、世界のスタンダードをリードする、「世界規準の大人」への成長を探究するための情報を発信していきます。



舟入高校の姉妹校であるフランスのバルトルディ高校について、皆さんはどれだけのことを知っているでしょうか？バルトルディ高校の魅力を次の4つにまとめてみました

まず第一に、バルトルディ高校は、歴史が**かなり古い伝統校**です。創立年が1714年というと世界史で勉強したと思いますが、ルイ14世から15世の頃で、ナポレオン3世の時代に帝国高校になったと言われている。したがって、バルトルディ高校のあるコルマル市の建物は、中世からルネサンスにかけての面影が色濃く残っています。

第二に、バルトルディ高校はフランスとドイツの国境近くにある高校なので、**フランスとドイツの両方の高校卒業資格が取れる**ところが魅力です。母国語のフランス語での授業以外にも、第一外国語として英語やドイツ語の授業があり、さらに第二外国語としてスペイン語が学べ、第三外国語として日本語などが学べる学校です。たとえば、日本語の試験では、ひらがな以外に漢字や作文が要求されるのでかなりハードです。一般にはフランスの高校の格差はなく、どこの高校でも一定水準の学力が保証されていますが、第三外国語まであるバルトルディ高校はフランスの中でもかなり**優秀な学校と言えます**。

第三に、バルトルディ高校は普通科ですが、生徒の進路や興味関心によって、高校2年の時に4つのカリキュラムに分かれます。その4つのカリキュラムは、文学コースと経済コースと理系コースと科学技術管理コースと呼ばれています。バルトルディ高校の多くの生徒の進路先は、プレパというグランゼコールの準備クラスという所（CPGC）へ進学しています。したがって、日本で言えば超進学校です。「自分の子供は、絶対にバルトルディ高校へ通わせたい」という保護者はフランス中にかなり多いらしいです。

最後に、バルトルディ高校のあるコルマル市は、第二次世界大戦中の激戦地のひとつであったアルザス地方にありながら、奇跡的にも戦禍を免れました。したがって、ウンターリンデン美術館に展示される16世紀の代表的な画家グリュネヴァルトによる「イーゼンハイムの祭壇画」や、コルマル生まれでニューヨークの自由の女神の作者として知られるバルトルディの美術館などの**文化的な施設がバルトルディ高校の近くにあります**。様々な文化施設を直接見学できるので、生徒の興味関心も科学や文化や歴史など多分野に分かれて高度である。

（国際部 池本博司）

